**取って、賛美し、裂いて、与えた2017 8/6**

**マタイ 14:13-21 安達均**

ここにあつまった会衆の上に主イエスからの豊かな恵みと平安が注がれますように！

「いただきます。」という言葉、日本語では毎食時に言う。あるいは食べ物ばかりではなく、なにか贈答品をもらったときにも「いただきます。」という。 そこには感謝や喜びの意味も含まれる。

普段英語を使っている方には、ほとんどなじみがないことだろうが、先週、日本から帰ってきたユースは全員、日本語を話す方々と食事をする時にこの言葉を聞いた事だろう。そしてこの言葉は、イエスが教えられたことと関係が深いのだと思う。

この言葉に関して、私はある日本人牧師から「目からうろこ」とでもいうべきか、とても心に残り、一生忘れられないことを学んだ。それは、「いただくという言葉の中には、何を食べるにしても、実はこの世に与えられた命を分かち合っていっしょにいただくという意味がある。」と教えられた。

与えられた福音書箇所について触れていきたい。有名な5000人の給食の話だ。人によっては、このストーリはイエスのおこした最大の奇跡だとい方もいたりする。

しかし、私の良く知る日本人牧師は5000人の給食は奇跡ではなく、集まった5000の家族が、子供もいっしょにいたりして、ポケットだが、なんらかの袋だか知らないが、それぞれに食べ物を持ち歩いていたのだ、と話していた。

だから、イエスが５きれのパンと二匹の魚を分け与え始めた際に、いろんな人が持ち寄ったものを分かち合いはじめたのだ。つまり、いってみれば、ポットラックのようなことが起こったという意見を持っている方もいる。

私は、聖書のストーリの解釈は、読む方の背景や考え方の違いにより聖書の受け取り方が異なる。私はどうかというと、奇跡かどうかはこの5,000人の給食の話のポイントではないのではないかと思っている。

言葉を変えれば、私はもっと大切なことを5000人の給食のストーリで教えられていると思った。もっとも大切なことはどういうことだろうか？　気づかれている方も多いと思うが、この5000人の給食でイエスが話している言葉は、後に最後の晩餐で話した言葉にそっくりなのだ。

このような観点から考えて、イエスが教えたかったもっとも重要な教えが含まれると思えるのだ。　それは神との関係を一番大切にすると同時に、人間同士が互いに愛し合うということではないだろうか。イエスが語っていたもっともな重要なおきてである。

イエスが5きれのパンと2匹の魚を5000人の男性とその家族や友人たちに与えるときの言葉に、よく注目したいと思う。イエスは、まず、そのパンと魚を取り上げた。そして、その取り上げた食べ物を高く上げ、賛美の祈りをしている。取り上げて高く上げている、その目的は食べ物を祝福し、神に感謝すること。

おなかがすいてしまった5000人の人々にとっては、弟子たちはとても足りない食べ物の量だといわれても、そこに食べ物があったということに、その食べ物をだれがもっていたにしろ、神が関わって送ってくださったことに、感謝賛美している。そこには神と5000人の人々との関わりがあるのだ。

そして次に、イエスは高く上げたパンを裂いているのだが、この裂く行為をなぜするかというと、人々に分け与えるためである。そこには、5000人の人々が、同じ食べ物を分かち合うことの大切さがある。　そこには、人と人との関係、互いを思いあう愛し合う関係の大切さが語られているのだと思う。

さてここまで話したところで、現代はどういう時代なのだろうか、そして現代の私たちになにを語りかけているのだろうか？ということを考えたい。私はここに多くの皆さんと同じ気分を味わったことがあると思うが、日本では神の話を横におこうとする傾向がある。神の話は実にしにくいのである。そして、ここアメリカにおいても無神化論は進んでいるようにも思う。

そして、人間と人間の関係はどうなっているだろうか。とくに国際的な状況を考える時、民族間・国家間でとかく自分たちだけがよければそれでよいのだという考えがまかり通りはじめている、そのような時代に後戻りしていないだろうか。そして残念ながら格差社会がどんどん進んでいることが当たり前のような現状がある。

今日、私たちは5,000人の給食の話を通して、人と人との関係のあるべき姿を再発見し、また再構築に向けて動きだすように教えられているのではないだろうか。一人ひとりは食べ物の裂かれた一部をいただくのだある。ほかの残された部分は世界中に広がる自分以外の人々のためにあるのだ。

豊かなる食べ物を取って、賛美し、裂いて、与えた、イエスの行動から、私たちは神の人間との関係回復、そして人と人との関係回復の二つの関係回復について学んでいるのではないだろうか。

説教の冒頭で「いただきます」という言葉について触れた。はっきりいって、この言葉の意味は深すぎで、アメリカ生活をする中で、どう説明してよいのか普段困ることがある。しかし、イエスの「取って、賛美し、裂き、与えた。」という行為を参考にして、日本の文化の中でも隠れて働かれている主が、「いただきます」の意味は「創造された命を、受け取って、感謝し、分かち合って、いただく。」そう説明すればよいのかと思う。